

22年 11月 19日

新宿区長 へ

法人名 NPO法人コミュニティカウンセラー協会
 所在地 新宿区高田馬場3-1-5-415
 (フリガナ) ハラダ レイコ
 代表者氏名 原田 玲子

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	母親支援事業 【講演】親のこころの問題と子育て／プチカウンセリング
実施日時又は期間	2010年9月20日（月）13：30～17：30 場所：新宿コズミックスポーツセンター 小体育室
対象者の範囲及び人数	新宿区在住の子育て世帯（母親、夫婦） 参加者6名
事業内容	第1部：講演 第2部：プチカウンセリング
具体的な活動状況	13：30-14：30 【講演】これからの子育てを考える ～子供の特性を、子供の“良さ”として活かす子育てをしよう 講師：スクールカウンセラー 奥村晋 先生 14：45-17：30 プチカウンセリング（1人30分） （その他） Fish Bowl Index（ストレスチェック）を設置 併設の託児ルームにて子供預かり
事業の成果	第1部の講演は参加者の方から「わかりやすく楽しかった。今後の子育てに参考になった」と大変好評であった。 講演終了後も参加者が積極的に講師に個人相談をしており、子育て中の不安を取り除くお手伝いが出来た。 第2部のプチカウンセリングは、第1部参加者のほとんどの方が体験をしていただき、「気持ち軽くなった」とのご意見をいただいた。 カウンセリングのみだと敷居が高くなってしまいがちだが、講演会と組み合わせて「講演会→プチカウンセリング」という流れを創り出すことで、参加者の皆様がカウンセリングを気軽に受けることができるようになることが今回のイベントでわかった。

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
	団体負担金			94,193 円
	参加費・資料代等	参加費： @1,000×6名		6,000 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成額 300,000 円		
	計			
支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳	費 目	決算額	内 訳	
	会議費	57,950 円	四谷ひろば使用料 4,700 円 会場使用料 40,600 円 会議室使用料 9,450 円 (@1,050×9) 講演用コピー代 3,150 円 打ち合わせ用コピー代 50 円	
	宣伝費	16,495 円	チラシ作成 10,300 円 当日用チラシ印刷代 6,195 円	
	リース費	73,650 円	マイク代 1,200 円 パーテーション 72,450 円	
	消耗品費	2,571 円	文具代 2,571 円	
	謝礼	129,140 円	講師 30,000 円 カウンセラー 90,000 円 (@10,000×9名) 保育士派遣代 9,140 円 (@9,140×1名)	
	人件費	70,000 円	当日スタッフ人件費 10,000 円 (@2,000×5名) 打ち合わせ人件費 40,000 円 (@4,000×5名×2日) 当日運営人件費（理事） 20,000 円 (@4,000×5名)	
	交通費	48,480 円	講師交通費 8,480 円 運営スタッフ交通費 40,000 円（理事5名6日分、事務局2名5日分、いずれも@1,000）	
	その他諸経費	1,907 円	振込手数料合計 1,207 円 ゆうパック代 700 円	
	助成対象事業費（小計）		400,193 円	
余 剰 金		円		
助成対象外事業費		円		
事 業 総 額			400,193 円	

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	会場のレイアウト、運営等は申請時のイメージ通りで、「気軽にカウンセリングを受ける」雰囲気を作り出すことができたと思う。 当日の参加者については当初目標を大幅に下回る結果となってしまったことが課題として残った。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	今回は様々なところでプロモーションをしております、当協会の活動内容をPRすることができたと考える。今後も継続していくことで、カウンセリングを身近なものにできるのではないかと予想している。
費用対効果は適正であったか。	会場費用やパーティーションなどの設備費用等費用全体はほぼ予算通りであったものの、当日の参加者数が予定を大幅に下回るものとなったことが費用対効果の点で課題となった。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	集客について、HPやツイッター、区内施設への配布等、幅広いプロモーションを行ったが、開催場所の近隣地域への積極的なビラ配布、ポスター掲示等をするとさらに効果的だったのではないかと感じた。イベント開催日の選定やイベント告知の早期開始など、今後は十分に検討していきたい。
理解者や支援者が広がったか。	Fish Bowl Index の運営母体である株式会社FBIとは、今回のイベントを機に今後も協力関係を継続していただけることになった。また、今回参加してくださったカウンセラーの方の多くが今後も協力してくださると言ってくださった。 また、このイベントをきっかけに新宿区とのネットワークを構築することができたことや、新宿区内の保育所、幼稚園、ベビーホテル等が趣旨を理解してチラシを置いてくださった等、協会ネットワークを広げることができた。
事務局の執行体制は十分だったか。	託児については、専門家をお願いすることができ、カウンセラーの方もボランティアとして運営に参加していただいたので、十分だったと感じている。また、イベントの会場設営や運営ノウハウ（講演とカウンセリングの組み合わせ）を蓄積することができた。

<p>今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。</p>	<p>次年度以降の継続開催にあたり必要財源となる協会会員の募集PRが今回の事業の取り組みのひとつであったが、イベントPRを見て会員になってくださったケースがあった。また、当協会の一事業であるカウンセラー勉強会の参加申込も当該イベントの前後で増加した。イベント参加者からの会員誘致は、参加者が予想を下回ったため、想定以上の効果は薄かった。</p> <p>今後は、早い時期から企画等に取り組み、寄付や協賛企業を募る努力をしていきたいと考えている。また開催時期を一般の方が参加しやすいように考慮したり（今回は三連休・お彼岸）、開催場所も低価なところを探す努力をしていきたいと考えている。</p>
<p>その他</p>	<p>今回のイベント中、通りすがりの方にこのイベントは定期的に行うのか？との質問を数件いただいた。特にストレスチェック（FBI）に興味を持たれる方が多かったので、区民のこころのケアやストレスチェックへのニーズはありそうだと感じた。</p>

4 活動の成果

*事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

*参加者の意見なども報告してください。



(参加者の声)

- 出産前に子育て講演を聞くことが出来て良かった。
- こどもの特性を活かす子育てが出来ると、頑張りたい。
- 2人目の育児に悩んでいたが、講演を聞いて悩みがふっきた。
- ストレスチェックがわかりやすく面白かった。
- カウンセリングで話しを聞いてもらえて心が軽くなった。